

# 私学助成署名推進ニュース

全国私立学校教職員組合連合  
No.28 2016年11月19日(土)

# 国会議員とガチトーク 京都私学フェスティバル四条パレード

11月13日(日)京都では、円山公園野外音楽堂を会場に「京都私学フェスティバル」が開催されました。今年は4学園から約30名の高校生実行委員が集まりこの日の企画を立案。会場取得、模擬店の消防署への届出、パレードの警察署への届出以外は、前週のリハーサルを含めすべて高校生が準備。音響も立命館高校放送部が担当するという徹底した高校生企画となりました。



フェスを彩る高校生パフォーマンス

父母の合唱隊

## 全国大会出場の部活発表

開会宣言後最初のパフォーマンスは、同志社中学の和太鼓部の演奏でした。その他この日のパフォーマンスは立命館宇治高校のバトントワリング部、チアリーディング部、京都女子高校バトントワリング部、京都橘高校ダンス部、バトントワリング部、大谷高校吹奏楽部、さらに京都橘すすめる会参加の父母51名の合唱隊。さらに東アジア青少年歴史体験キャンプやバングラディッシュ支援プロジェクトなどの発表などもステージに登りました。



歴史体験キャンプ報告



トークセッション

## メイン企画は3国会議員を招いての ガチ・トークセッション

この日メイン企画は、高校生と国会議員の「そこまで聞いて委員会!」と題した、トークセッションでした。午後13:00から90分、5校8名の高校生と民主党：前原誠司衆議院議員、共産党：穀田恵二衆議院議員、民進党：福山哲郎参議院議員が「18歳選挙権」「私学助成」「給付制奨学金」の3点について議論を展開しました。私学助成について高校生が「ネコババ問題をどうお考えか?」という質問を投げると、前原議員「国全体としての予算が少ない。上乗せしていく必要がある」穀田議員「2分の1に引き上げることが急務。2千数百億でできるはず」福山議員「国基準下回りは良くない。+αは自治体の実態を反映させて。ベースを上げる必要あり」とそれぞれのお考えを力強く答えられました。事前に高校生が質問を送付して迎えたセッションは、議論が咬み合う有意義な90分となりました。



(左から) 前原議員 穀田議員 福山議員

## 高校生企画を父母・教職員が一体となって盛り上げたフェスティバル

国会議員と高校生が熱いトークバトルを展開している中、会場後方では「やきそばいかがですかあ〜」「みたらし団子3本200円」といった声が響いています。模擬店で活躍する父母の声です。またパタンパタンという音も響きます。青年教員が搗く餅つきの音です。三者が一体となったフェスティバル。その象徴は、フィナーレの総踊り「JOY」。例年よりも多数の高校生実行委員会と京都橘チア部が舞台上がって達成感を込めた笑顔で踊る姿に引き寄せられるように、父母がステージ下に集まり、ステージを真似ながら踊りはじめました。まさに「JOY」という空気が野外音楽堂を包むエンディングとなりました。



総踊り「JOY」



四条を練り歩いた パレード



## 賑わう四条で「私学を無償に!!」を訴えたパレード

フェスティバルの盛り上がる空気を携え、実行委員会3役を先頭に八坂神社前からパレードをスタートさせました。大谷高校吹奏楽部の演奏、京都橘高校チア部のパフォーマンスとともに、「高校生は無力じゃない」「学費の公私間格差をなくして!!」のコールを、四条大通りにこだませました。